

令和2年11月12日	
資料提供	
担当課	森林整備課 林業振興課
担当者	森川、後藤 長井、井戸
電話（直通）	073-441-2972 073-441-2968

令和2年度

「和歌山県緑化功労賞」並びに「紀州材ベストユーザー賞」表彰式の開催について

和歌山県では、第62回全国植樹祭を契機に「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定し、森林及び樹木を守り、又は育てる活動について、特に顕著な功績があった者を顕彰。

更に、平成21年度には「紀州材ベストユーザー賞」を創設し、県外の木材大消費地において、紀州材の需要拡大に実績のある企業等を対象に、その優れた取り組みも表彰しています。

この度、両賞における令和2年度の受賞者が決定しましたので、下記日程により表彰式を行います。

1. 日時 令和2年11月24日（火） 15:00～（30分程度）

2. 場所 和歌山県庁 本館3階 知事室

3. 受賞者

【和歌山県緑化功労賞】

■森林教育・研究部門

熊野森林学習推進協会（新宮市熊野川町）

代表者：田中 多喜夫 氏

（受賞理由）当団体は、平成13年の発足以来、松下政経塾、和歌山大学経済学部生、貴志川高等学校など、これまで100回を超える学習会を開催し、延べ3,000人以上を受け入れるなど、森林・林業に関する普及啓発活動を継続して行っている。

主な活動フィールドは新宮市熊野川町で、恵まれた森林資源を活かした林業体験や自然体験を通じ、森林保全と林業の仕組み、地球温暖化問題、環境保全の大切さなどを学び体験できる様々な学習会を企画し、県内外から多くの参加者を得て実践していることが高く評価された。

■地域活動部門

一般社団法人 紀の国森社中（橋本市）

代表者：小杉 美恵子 氏

（受賞理由）当法人は、平成13年に設立され、令和元年10月に、更なる事業拡大を図るため法人化し名称も変更された。

橋本市運動公園内の「郷土の森」を活動拠点とし、市民ボランティア活動により竹林の伐採、歩道整備等の里山保全活動を実施、平成30年度からは新たに活動場所を3箇所増やし、放置され立入が困難な里山の整備にも地域住民と協力して取り組んでいる。また、整備した森林の活用にも積極的に取り組み、小学生向けの自然体験クラブを主催するなど、1年を通じて多様な里山保全活動を活発に展開していることが高く評価された。

■社会貢献部門

パナソニック株式会社ライフソリューションズ社（大阪府門真市）

代表者：道浦 正治 氏

（受賞理由）当法人は、住宅関連事業を中心に森林資源を多く活用していることから、森林環境への「恩返し」として、2007年から田辺市龍神村において「パナソニック・田辺龍神ながきの森」と命名し、企業の森活動に参画されている。

活動は、労働組合とともに新入社員の研修の一環などとして取り組まれ、これまで約20haを整備し、参加者数も延べ5,000人を超えている。

また、地元産品を材料にしたお弁当の配付や、「あかり」をテーマにした小学校での出前授業の開催、龍神村民まつりにも「LED工作」で参加するなど、森林整備はもとより地域住民との交流も活発に行われていることが高く評価された。

【紀州材ベストユーザー賞】

■大賞

株式会社リソーケンセツ（埼玉県春日部市）

代表者：伊藤 正明 氏

（受賞理由）当社は、1996年の創業以来、埼玉県を拠点に、注文住宅「無添加無垢の家」の設計施工に特化し、住まい手に自然素材の暮らしを提供する地域工務店として活動している。

設計・建築で使用する構造材は、2002年に竣工したモデルハウス「無垢乃家」での使用を契機に、紀州材に特化。これ以降、年間約30棟を建築し、累計約4,600㎡もの紀州材を使用するなど、その取り組みを継続している。

紀州材に特化したのは、高強度である特性に加え、建築工法として用いている“現し工法”において、タイコ梁や化粧梁などで使用した際の優れた意匠性、美しさに惹かれたことが大きな理由である。また、施主を「紀州の山見学ツアー」として首都圏から和歌山に案内し、紀州材や和歌山県の魅力を発信することで、その価値への理解向上に努めている。

当社は、紀州材を約18年間、継続的に使用し、また、施主を和歌山に案内しその魅力を伝えるなど、その活動は紀州材の需要拡大や首都圏でのPRに大きく貢献しており、その活動が高く評価された。

4. 県出席者 知事、農林水産部長、森林・林業局長

和歌山県緑化功労賞について

〈目的〉

和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例（平成23年条例第58号）第18条の規定に基づき、本県の森林及び樹木を守り、又は育てるために優れた活動を行うものを表彰することにより、県民の森林及び樹木を守り、又は育てることに関する意識の高揚及び行動の促進を図ることを目的に実施する。

〈表彰の対象者〉

表彰の対象者は、下記に掲げる部門において特に顕著な功績があると認められる個人又は団体とする。

1. 森林教育・研究部門
2. 地域活動部門
3. 社会貢献部門

〈表彰者の決定〉

県内市町村や森林関係機関からの推薦を受け、選考委員会の審議結果を参考とし、知事が決定する。

〈過去の受賞者〉

平成24年度	花王株式会社和歌山工場、紀の川市立上名手小学校
平成25年度	和歌山市立加太小学校
平成26年度	美浜町立松原小学校
平成27年度	日本たばこ産業株式会社、岩出市立根来小学校
平成28年度	上富田町立生馬小学校、紀南木材新緑會、水軒の浜に松を植える会
平成29年度	煙樹ヶ浜保安林保護育成会、公益財団法人熊野林業、 特定非営利活動法人南紀こどもステーション
平成30年度	一般社団法人熊野百間溪谷自然学校、ユニチカユニオン、天野の里づくりの会
令和元年度	特定非営利活動法人根来山げんきの森倶楽部、白浜町みどりの少年団

紀州材ベストユーザー賞について

〈目的〉

東京・名古屋・大阪など国内における木材の大消費地（以下「木材大消費地」という。）において、和歌山県産材である紀州材の需要拡大に実績のある建築士、工務店、団体等や、紀州材を使い新しいライフスタイルの提案を行う企業等を対象に、その優れた取組を表彰し、広く紹介することにより、紀州材の更なる需要拡大につなげていくことを目的に実施する。

〈表彰の対象者〉

表彰の対象者は、和歌山県外に拠点を有し、木材大消費地での紀州材の需要拡大に繋がる下記いずれかの活動を行った企業、団体又は個人とする。

1. 紀州材を使い優れた建築を行った建築士・工務店等
2. 県内企業等と連携して、紀州材の需要拡大に努めた団体・企業等
3. 紀州材を使った住宅・店舗等で新しいライフスタイルを提案する個人・企業等

〈表彰の種類〉

大 賞：紀州材に関する取組が継続的なものであり、今後においても需要拡大が見込まれるもの
特別賞：紀州材に関する取組が短期的ではあるが、紀州材の利用啓発効果が大きいもの

〈募集期間〉

令和2年7月28日（火）～令和2年8月26日（水）まで

〈過去の受賞者〉

平成21年度	大 賞：協同組合匠の会 特別賞：株式会社コアー建築工房
平成22年度	大 賞：紀州ひのきの会、(株)プフィエ 特別賞：近畿大学附属小学校・附属幼稚園
平成23年度	大 賞：甘粕工務店、(株)みらいテクノハウス
平成24年度	大 賞：(株)川口建設 特別賞：京阪電鉄不動産(株)
平成25年度	大 賞：平村建設(株)、(株)平尾工務店 特別賞：福島加津也+富永祥子建築設計事務所
平成26年度	大 賞：OMソーラー(株) 大 賞：郡建設(株)・こおり木材(株)
平成27年度	大 賞：(株)三浦建設 特別賞：(有)無有建築工房
平成28年度	大 賞：(株)鳥貴族
平成29年度	特別賞：(株)学校法人近畿大学 特別賞：(株)NTTファシリティーズ 特別賞：(株)大林組
平成30年度	大 賞：(株)スズキ建築設計事務所
令和 元年度	大 賞：トヨタダヤスシ建築設計事務所



※R1 年度表彰式の様子 (R2. 2. 18)